

1. 科目名 (単位数)	福祉と教育 (2単位)		3. 科目番号	GELA1329 GELA1349
2. 授業担当教員	篠 大輔			
4. 授業形態	講義 (学習参考例)、演習 (ワークシート)、ディスカッション、レポート課題、発表		5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係				
7. 講義概要	福祉や教育の現場では、突然生じる問題を的確に発見して捉え、福祉や教育を必要とする各人のニーズに応えられるように解決していかなければならない。そのためには、これまで我が国で主流とされてきた一方的な知識注入型の授業法を改め、学生が主体となって学習に取り組めるような双方向対話型の授業法に切り替えていかなければならない。本授業では、主に「新聞記事」「視覚教材」「学習参考例」などをもとにして、日本の福祉と教育のあり方について考え、真に必要な能力は何かを分析しながら、現代社会で求められる福祉従事者や教育者のあり方について考察する。			
8. 学習目標	本講義では、①ディスカッションでは、他人の意見を受け入れつつ、柔軟な思考力や問題解決能力を養うこと、②発表では、聞き手に理解されやすい表現力を身に付けること、③レポート課題では、論理的でわかりやすく簡潔な文章が書けるような文章作成能力を身に付けること、を学習目標にしている。また、①～③に記した能力を兼ね備え、福祉や教育の現場で役立つ実践力を身に付けることを究極の目標としている。			
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	1. ワークシート (各回の講義内容に沿った課題を提示する。) 2. 期末レポート 「授業の内容を踏まえた上で、今後の福祉や教育の現場で行うべき対人援助のあり方について自らの考えを述べなさい。」			
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 特定の教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。 【参考文献】 参考文献については、テーマごとに紹介する。			
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 ・福祉や教育に関する現代的な課題について理解することができたか。 ・ディスカッションにおいて、他の人の意見を受けとめ、自分の意見を分かりやすい表現で伝えることができたか。 ○評定の方法 ・平常点 (積極的参加度・授業態度・発言等) 20% ・理解度 (ディスカッション記録、レポート、発表内容、資料等の作成など) 20% ・期末評価 (レポート・試験等) 60% 3/4 以上の出席が確認できない場合には単位を認めないこととする。さらに、欠席は 1 回 (90 分) につき 10 点を減点することとし、遅刻や早退はその時間分を減点する。ただし、特別な事情で欠席、遅刻、早退した場合には考慮し、課題を与えるなどして対応する。			
12. 受講生へのメッセージ	1. 授業中は私語を慎み、携帯電話・スマートフォンの電源を切って参加してください。 2. グループワークやディスカッションには積極的に参加しましょう。 3. 授業中に分からなかったことや疑問点は後に残さずに授業後に質問してください。 4. レポートや課題の提出期限を守ってください。 5. 正当な理由のない遅刻、早退、欠席はしないように心掛けてください。			
13. オフィスアワー	初回講義で連絡する。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第 1 回	オリエンテーション (授業の進め方等を説明)	事前学習	福祉と教育に関して興味のあることを整理しておく。	
		事後学習	「福祉と教育」を学ぶ意義について自分なりの考えをまとめておく。	
第 2 回	いじめ問題① - 現代における「いじめ」の現状 -	事前学習	いじめの問題について知っていることを整理しておく。	
		事後学習	映像資料の視聴やディスカッションを通して、いじめ問題について自分なりに考えをワークシートにまとめておく。	
第 3 回	いじめ問題② - 「いじめ」の解決にむけて -	事前学習	前回に取り上げたいじめの問題について復習しておく。	
		事後学習	映像資料の視聴やディスカッションを通して、いじめ問題について自分なりに考えをワークシートにまとめておく。	
第 4 回	不登校	事前学習	不登校の問題について知っていることを整理しておく。	
		事後学習	映像資料の視聴やディスカッションを通して、不登校の問題について自分なりに考えをワークシートにまとめておく。	
第 5 回	フリースクール	事前学習	フリースクールについて知っていることを整理しておく。	
		事後学習	映像資料の視聴やディスカッションを通して、フリースクールについて自分なりに考えをワークシートにまとめておく。	
第 6 回	子どもの発達障害	事前学習	発達障害について知っていることを整理しておく。	
		事後学習	映像資料の視聴やディスカッションを通して、発達障害について自分なりに考えをワークシートにまとめておく。	

第7回	大人の発達障害	事前学習	前回に取り上げた発達障害について復習しておく。
		事後学習	映像資料の視聴やディスカッションを通して、発達障害について自分なりに考えをワークシートにまとめておく。
第8回	子どもの虐待	事前学習	子どもの虐待の問題について知っていることを整理しておく。
		事後学習	映像資料の視聴やディスカッションを通して、子どもの虐待問題について自分なりに考えをワークシートにまとめておく。
第9回	子どもの貧困① - 現状の課題 -	事前学習	子どもの貧困の問題について知っていることを整理しておく。
		事後学習	映像資料の視聴やディスカッションを通して、子どもの貧困問題について自分なりに考えをワークシートにまとめておく。
第10回	子どもの貧困② - 課題の解決にむけて -	事前学習	前回、取り上げた子どもの貧困問題について復習しておく。
		事後学習	映像資料の視聴やディスカッションを通して、トラウマ治療について自分なりに考えをワークシートにまとめておく。
第11回	ハンセン病問題について	事前学習	ハンセン病問題について知っていることを整理しておく。
		事後学習	映像資料の視聴やディスカッションを通して、ハンセン病の問題について自分なりに考えをワークシートにまとめておく。
第12回	障害者差別解消法について	事前学習	障害者差別解消法について知っていることを整理しておく。
		事後学習	映像資料の視聴やディスカッションを通して、障害者差別解消法について自分なりに考えをワークシートにまとめておく。
第13回	若年介護問題について	事前学習	若年介護問題について知っていることを整理しておく。
		事後学習	映像資料の視聴やディスカッションを通して、介護離職問題について自分なりに考えをワークシートにまとめておく。
第14回	レポート作成(今後の福祉や教育の現場で行うべき対人援助のあり方について考察する。)	事前学習	レポートの課題について自分の考えをまとめておく。
		事後学習	レポートでは書ききれなかったことについて整理しておく。
第15回	まとめ - 「福祉と教育」の授業を振り返って	事前学習	これまでの授業で使用したワークシートを見直し、ふり返っておく。
		事後学習	返却されたレポートの見直しをして、今後の授業に活用する。